

取扱説明書
保証書付
MCE-3056

S型オイルヒーター

OIL HEATER

- 自動温度調節機能付
- 転倒時電源自動遮断装置付
- ON/OFFタイマー

この度はお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みになり正しくご使用下さい。
お読みになった後は、大切に保管して下さい。

安全上のご注意

| | | | |
|--|---|--|---|
| | 誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。 | | 誤った取扱をすると、人が傷害(※1)を負ったり、物的損害(※2)の発生が想定される内容を示します。 |
|--|---|--|---|

※1 傷害とは、治療に入院や長期の通院等を要しない、けがや火傷、感電等をさします。
※2 物的損害とは、家屋や家財および家畜やペットにかかわる拡大損害を示します。

| | | | |
|--|---------------------|--|------------------|
| | 禁止(してはいけないこと)を示します。 | | 強制(必ずすること)を示します。 |
|--|---------------------|--|------------------|

| 警告 | |
|----|--|
| | 分解禁止 ・絶対に分解・修理・改造は行わない。※製品の故障や、感電・思わぬけがにつながるおそれがあります。 |
| | 禁止 ・子供等取扱に不慣れな方だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところで使用しない。 ※火傷や感電・思わぬけがの原因となります。 ・電源コードが痛んだりコンセントの差し込みが緩い時は使用しない。※感電・ショート・火災の原因となります。 ・電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない。※感電・ショート・火災の原因となります。 |
| | 水場使用禁止 ・浴室等の湿気が多い場所・水のかかる場所で使用しない。また本体を水につけたり水をかけたりしない。 ※感電・ショート・火災・故障の原因となります。 |
| | ぬれ手禁止 ・濡れた手で電源プラグの抜き差しはしない。※感電の原因となります。 |
| | 強制 ・電源プラグは根元まで確実に差し込む。必ず交流100Vで使用する。 ・電源プラグのほこり等は定期的にとる。 ・お手入れは、電源をOFFにして電源プラグをコンセントから抜いた状態で行う。 |

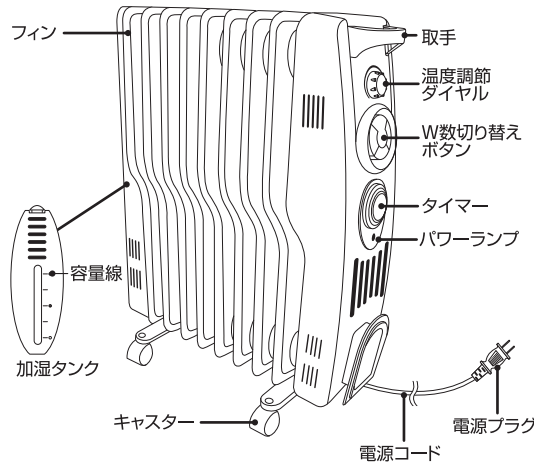
| 注意 | |
|----|---|
| | 禁止 ・本製品を本来の使用目的以外には使用しない。 ・子供の手の届く場所に保管しない。 ・使用中はフィンに触れない。※火傷の原因となります。 ・本体の上に物を置いたり、布等をかぶせたりしない。※火災の原因となります。 ・不安定な場所で使用しない。 ・タコ足配線はしない。 ・破損したら使用しない。 |
| | 強制 ・電源プラグを抜く時は、電源コードを持たず必ず先端の電源プラグ部分を持って抜く。 ・使用中に本体の側を長時間離れる場合は必ず電源をOFFにする。 ・お手入れは本体が冷めてから行う。 |
| | プラグを抜く ・使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く。 |

使用上のご注意

- この内容を守らないと製品の動作に問題が生じたり製品本体の故障につながります。
- 本製品は一般家庭用です。業務用又その他の用途でのご使用はおやめ下さい。
 - 取手は本体を引いて移動させる際に使用します。取手部分を持って本体を持ち上げないで下さい。持ち運ぶ際は、本体を抱えて移動させて下さい。
 - 熱に弱いものやカーテンの側でのご使用はおやめ下さい。
 - フィンにコードを巻き付けしないで下さい。
 - 高温になる場所、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所への設置・保管・放置はおやめ下さい。
 - 落とす・ぶつける等、製品本体に強い衝撃を与えないで下さい。
 - お手入れの際のシンナー・ベンジン等の揮発性有機溶剤のご使用はご遠慮下さい。
 - 稀に加湿タンク内に水滴が残っている場合がありますが、これは工場出荷時の製品テストによるものです。製品の動作に問題はありません。

| 仕様 | | | | | |
|--------|--|---------|----------------------|------|----|
| 寸法 | 約W45×D14.5×H63cm | 材質 | ABS、ポリカーボネート、スチール、PP | | |
| コード | 約180cm | 放熱の方式 | 油入式 | | |
| 重量 | 約12kg | 温度調節の方式 | 可変式 | | |
| 定格電圧 | 100V | 暖房能力 | 1200W | | |
| 定格周波数 | 50/60Hz | 熱媒体の種類 | 鉱物油 | | |
| 定格消費電力 | 500W/700W/1200W | 注水量 | 約350ml | フィン数 | 9翼 |
| 適用床面積 | プレハブ洋室20㎡(～10畳) 木造和室15㎡(～8畳) ※1200W使用時 | | | | |

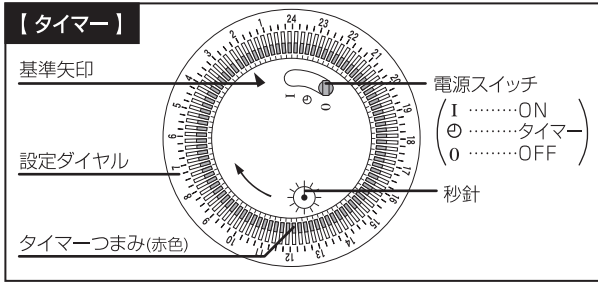
各部名称



※取手は本体を引いて移動させる際に使用します。取手部分を持って本体を持ち上げないで下さい。持ち運ぶ際は、本体を抱えて移動させて下さい。
※稀に加湿タンク内に水滴が残っている場合がありますが、これは工場出荷時の製品テストによるものです。製品の動作に問題はありません。

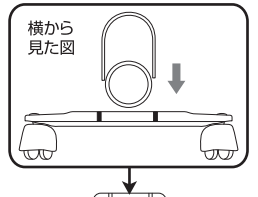
使用方法

- 電源プラグをコンセントに差し込み、タイマーの電源スイッチを「I」に合わせます。
- W数切り替えボタンでお好みのW数のボタンを押します。
- 温度調節ダイヤルでお好みの温度に調節します。



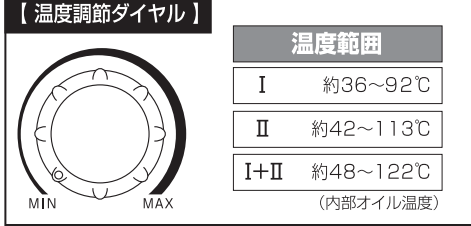
キャスターの取り付け方法

- 本体を逆さにして置きます。※オイルの流れる音がしますが、ご使用に問題はありません。
- 下図の様にキャスターをセットします。
- ネジをしっかりと締め、ヒーターを元の位置に戻します。



※位置・向きに注意して取付けて下さい。

- 温度調節ダイヤルでお好みの温度に調節します。



■電源プラグをコンセントに差し込むと、電源スイッチがOFFの状態でも、秒針と設定ダイヤルが回転します。

■電源スイッチをONにしても、W数切り替えボタンを押して温度調節ダイヤルを回さないヒーターは暖かくなりません。

■輸送の際等に転倒時電源自動遮断装置が作動してしまう場合があります。初回ご使用時に電源が入らない場合は、数回本体をゆすり、再度電源をONにして下さい。

タイマーの使用法

- タイマーの電源スイッチを、「0」に合わせ、タイマー使用モードにします。

- 設定ダイヤルをまわし、基準矢印に1の目盛りを合わせます。
※ダイヤルは時計回りにしか動きません。回し過ぎて通り過ぎてしまった場合は、もう一度時計回りに回してセットして下さい。

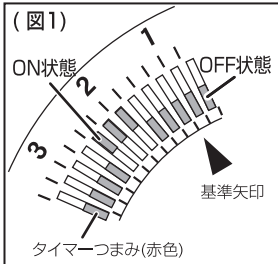
- 設定ダイヤルの内側にあるタイマーつまみを外側に動かし、ヒーターを運転する時間を設定します。(図1参照)
※設定ダイヤルが回転し、タイマーつまみを外側に動かしした位置が基準矢印の位置にきた時にヒーターの電源がONになります。

- W数切り替えボタンでお好みのW数を選び、ボタンを押します。

- 温度調節ダイヤルを回し、お好みの温度に調節します。
※電源スイッチをONにしても、W数切り替えボタンを押して温度調節ダイヤルを回さないヒーターは暖かくなりません。

タイマーの目盛りの読み方

地域によって供給電力の周波数が異なる為、目盛りの読み方が変わります。(図2参照)
※周波数が分からない方はご自宅のプレーカーをご確認下さい。
各地域の目盛りの読み方は、右上「50Hz地区にお住まいの方/60Hz地区にお住まいの方」をご参照下さい。



- (図2)
- 50Hz地区
 - 60Hz地区
 - 混在地区



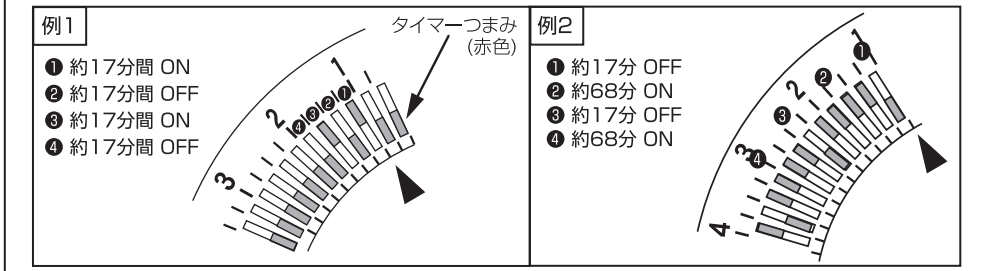
50Hz地区にお住まいの方

- タイマーの一目盛りは約17分です。約17分単位でON/OFFを設定できます。
※(約17分ON-17分OFF-17分ON)や(約68分ON-17分OFF-68分ON)等

○タイマーダイヤルの数字の1カウント(つまみ4つ) = 約68分

(例1) 約17分おきにONとOFFをくりかえす場合、つまみを1つおきに外側に動かします(下図例1参照)

(例2) 約17分後ONになり、68分使用し、その後約17分OFFにし再度68分使用する場合、つまみを基準から1つ内側のままにし、次の4つを外側に動かし、再度1つを内側のままにし、次の4つを外側に動かします。(下図例2参照)



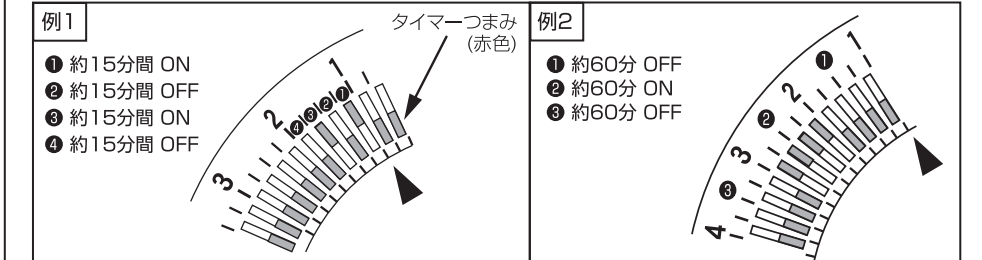
60Hz地区にお住まいの方

- タイマーの一目盛りは約15分です。約15分単位でON/OFFを設定できます。
※(約15分ON-15分OFF-15分ON)や(約30分ON-15分OFF-30分ON)等

○タイマーダイヤルの数字の1カウント(つまみ4つ) = 約60分

(例1) 約15分おきにONとOFFをくりかえす場合、つまみを1つおきに外側に動かします(下図例1参照)

(例2) 約60分後ONになり、60分使用し、その後OFFにする場合、つまみを基準から4つ内側のままにし、次の4つを外側に動かします。(下図例2参照)



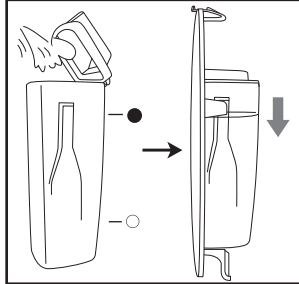
- 目盛りの読み方は目安です。ご使用のW数・使用環境により、誤差が生じる場合がございますので、予めご了承ください。又、タイマーの設定は、こまめに行う事をお勧めします。
- 暖房中に本体の側を長時間離れる場合は、必ず電源をOFFにして下さい。

加湿タンクについて

加湿タンクに水を入れて使用すると、室内の乾燥を和らげる事ができます。
※加湿タンクなしでもヒーターは使用できます。

- 【使用方法】 タンクに水を入れ、本体にセットします。
※容量線の●マーク以上は水を入れしないで下さい。

【アロマボットとして使用する】
タンクに水を入れ、アロマオイルを数滴たらし、アロマ効果もお楽しみいただけます。
※室内の環境(温度・湿度)やヒーターの温度の設定等により、タンクの水位の変動が遅い場合がありますが、製品の故障ではありません。



自動温度調節機能

暖めすぎの無駄をはぶき、お部屋を一定の温度に保ちます。
※自動温度調節機能が動いている時は電源スイッチが「I」や「0」にセットされていてもパワーランプは消灯します。
※自動温度調節機能は室温で作動します。ヒーター本体に隙間風が当たる場所や空気の通流の悪い場所でのご使用はご遠慮下さい。

転倒時電源自動遮断装置

万一、ヒーターが倒れた場合、自動で運転が止まります。
※転倒時電源自動遮断装置が働いた製品は、起こしても装置が解除されず電源が入らない場合があります。そのような場合は、本体を数回ゆすり、再度電源を入れて下さい。また、輸送の際等に転倒時電源自動遮断装置が作動してしまう場合があります。初回ご使用時に電源が入らない場合は、数回本体をゆすり再度電源を入れて下さい。

お手入れの仕方

- ※必ず電源プラグをコンセントから抜き、フィンが十分冷えてから行って下さい。
- ※ベンジン・アルコール・シンナーなどの揮発性有機溶剤のご使用はおやめ下さい。
- フィンの汚れは、やわらかい布で乾拭き、またはかたく絞った布で拭いて下さい。